

作成日 1995年 10月 31日  
改訂日 2015年 2月 20日  
更新 2019年 2月 20日

# 製品安全データシート

## 1. 製品及び会社情報

製品名 : ZF-400 黒

会社名 : 永大化学株式会社  
住所 : 岐阜県多治見市白山町5丁目39番地  
電話番号 : 0572-22-7218 FAX番号 : 0572-24-1327  
緊急連絡電話番号 : 永大化学株式会社 0572-22-7218  
担当 : 佐藤 宏

## 2. 危険有害性の要約

GHS分類 : 物理化学的危険性

- 可燃性固体 : 区分外
- 自然発火性固体 : 区分外
- 自己発熱性化学品 : 区分外
- 水反応可燃性物質 : 区分外
- 酸化性固体 : 区分外

上記で記載がない危険性は、分類対象外か分類できない。

健康に対する有害性

- 急性毒性(経口) : 区分外
- 発がん性 : 区分外
- 特定標的臓器/ : 区分3(気道刺激性)
- 全身毒性(単回暴露)
- 特定標的臓器/ : 区分1(肺:吸入)
- 全身毒性(反復暴露)

上記で記載がない有害性は、分類対象外か分類できない。

環境に対する有害性 : 水生生物に猛毒性であり、水生環境に長期間悪影響をおよぼす可能性がある。

GHSラベル要素

絵シンボル



注意喚起後 : 危険  
危険有害性情報 : 呼吸器への刺激のおそれ。  
: 長期または反復暴露による臓器(肺:吸入)の障害。 眼を刺激する。

注意書き (予防策)  
この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。  
取扱い後はよく手を洗うこと。  
屋外又は換気の良い場所でのみ使用すること。  
発じんする場合は、防じんマスク/保護手袋/保護眼鏡/保護衣を着用すること。  
発じんする場合の除去は真空掃除機を使用すること。  
(対応)  
気分が悪い時は、医師の診断/手当てを受けること。吸入した場合  
被災者を空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。  
(保管)  
(できれば)施錠して保管すること。  
容器を密閉して、水漏れしないように室内の換気のよい所で保管すること。  
(廃棄)  
内容物、容器を国又は都道府県の規則に従って廃棄すること。

重要な徴候 : 情報なし  
想定される非常事態の概要 : 情報なし

PRTR法 : 第一種指定化学物質  
1-87番 : クロム及び三価クロム化合物 Crとして含有量19%±2%  
1-132番 : コバルト及びその化合物 Coとして含有量13%±2%  
: 特定第一種指定化学物質  
1-309番 : ニッケル化合物 Niとして含有量7%±2%  
: 労働安全衛生法 第57条に定める名称を通知すべき物質  
172号 : コバルト及びその化合物  
418号 : ニッケル及びその化合物  
142号 : クロム及びその化合物

### 3. 組成、成分情報

単一製品・混合物の区別 : 単一製品  
化学名(又は一般名) : 窯業用顔料 (鉄、クロム、コバルト、マンガン、ニッケルの複合酸化物)  
化学特性(化学式又は構造式) :  $\text{Fe}_2\text{O}_3 \cdot \text{Cr}_2\text{O}_3 \cdot \text{Co}_2\text{O}_3 \cdot \text{NiO} \cdot \text{SiO}_2$   
CAS番号 : 該当なし  
成分及び含有量 : 100%  
官報公示整理番号(化審法) : (1)-267 (1)-284 (1)-517 (1)-475

### GHS分類に寄与する不純物及び安定化添加物

化学名(又は一般名) : 情報なし  
濃度(又は濃度範囲) : 情報なし

#### 4. 応急措置

- 吸入した場合 : 直ちに空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。  
気分が悪い時は医師に連絡すること。
- 皮膚に付着した場合 : 皮膚を速やかに水道水で洗浄すること。
- 目に入った場合 : 直ちに清浄な水で洗眼すること。眼の刺激が続く場合は、医師の診断/  
手当てを受けること。
- 飲み込んだ場合 : 多量の水を飲ませ嘔吐させ、必要ならば医師の手当てを受けること。
- 最も重要な徴候及び症状 : 情報なし。
- 応急措置をする者の保護 : 保護服・保護具を着用すること。
- 医師に対する特別注意事項 : 保護服・保護具を着用すること。

#### 5. 火災時の措置

- 消化剤 : この製品自体は燃焼しない。周辺の火災に適応した消化剤を使用すること。
- 使ってはならない消化剤 : 情報なし
- 火災時の特有の危険有害性 : 情報なし
- 特定の消火方法 : 情報なし
- 消火を行う者の保護 : 消火作業では、適切な保護具(手袋、眼鏡、マスク)を着用すること。
- 有害危険性燃焼生成物 : 分解生成物には以下の物質が含まれることがある金属酸化物

#### 6. 漏出時の措置

- 人体に対する注意事項、  
保護具及び緊急時措置 : 発じんする場合には、防じんマスクを着用すること。  
漏出時の処理を行う際には、ゴム手袋、保護眼鏡、保護衣を着用する  
こと。
- 環境に対する注意事項 : 収集物は産業廃棄物として処理すること。
- 封じ込め及び浄化の方法・機材 : 粉じんが立たないように、真空掃除機を使用すること。
- 二次災害の防止策 : 粉じんの発生、拡散を避けること。

#### 7. 取扱い及び保管上の注意

- 取扱い
- 技術的対策 : 『 8. 暴露防止及び保護措置 』 に記載の設備対策を行い、保護具を  
着用すること。
- 局所排気・全体換気 : 『 8. 暴露防止及び保護措置 』 に記載の局所排気、全体換気を行う  
注意事項 : こと。発塵する場合には、防塵マスクを着用すること。
- 安全取扱い注意事項 : 屋外又は換気の良い区域のみで使用すること。  
接触、吸入又は飲み込まないこと。  
粉じん、ヒュームを吸入しないこと。  
取扱い後はよく手を洗うこと。
- 保管
- 適切な保管条件 : (できれば)施錠して保管すること。  
容器を密閉して、水漏れしないように室内の換気のよい所で保管する  
こと。
- 安全な容器包装材料 : データなし

#### 8. 暴露防止及び保護措置

- 設備対策 : 空気中の濃度を暴露限度以下に保つために排気用の換気を行うこと。  
この物質を貯蔵ないし取り扱う作業場には洗顔器と安全シャワーを

設置すること。

管理濃度 : 労働省設定されていない  
許容濃度 : 日本産業衛生学会  
Coとして 0.05mg/m<sup>3</sup> (コバルト及びコバルト化合物)  
吸入性粉塵 2mg/m<sup>3</sup> (第3種粉塵)  
総粉塵 8mg/m<sup>3</sup> (第3種粉塵)

#### 成分名

cobalt(ii,iii) oxide JSOH(日本、5/2006).注記事項:asCo  
OEL-M: 0.05mg/m<sup>3</sup>、(asCo) 8時間.  
cobalt oxide JSOH(日本、5/2006).注記事項:asCo  
OEL-M: 0.05mg/m<sup>3</sup>、(asCo) 8時間.

#### 保護具

呼吸器の保護具 : 防塵マスクを着用すること。  
手の保護具 : 保護手袋を着用すること。  
目の保護具 : 保護眼鏡を着用すること。  
皮膚及び身体の保護具 : 保護衣を着用すること。  
適切な衛生対策 : 作業中は飲食、喫煙はしないこと。

### 9. 物理的及び化学性質

#### 物理的状态

形状 : 粉末  
色 : ブラック  
臭い(臭いの閾値) : 無臭  
pH : 該当しない  
初留点と沸騰範囲 : データなし  
分解温度 : データなし  
引火点 : データなし  
自然発火温度 : データなし  
燃焼性(固体、ガス) : データなし  
燃焼又は爆発範囲の上限/下限 : データなし  
蒸気圧 : データなし  
蒸気密度 : データなし  
蒸発速度 : データなし  
比重(相対密度) : 5.24  
高比重 : 2.50  
溶解性 : 水:不溶  
その他の溶媒:不溶  
オクタノール/水分配係数 : データなし

### #. 安定性及び反応性

安定性 : 大気中で安定である。

危険有害反応可能性 : 酸・アルカリに極微量溶ける。  
避けるべき条件 : 情報なし  
混触危険物質 : 情報なし  
危険有害な分解生成物 : 情報なし

#### # . 有害性情報

急性毒性 : 知見なし  
腐食性 : 知見なし  
慢性毒性 : 皮膚及び眼刺激; 知見なし  
変異原性 : 知見なし  
がん原性 : 日本産業衛生学会 ; 第1群 ニッケル化合物(金属ニッケルを除く)  
; 第2群B コバルト及びコバルト化合物

OSHA : 記載なし

NTP:b(Nickel and certain compounds)

LARC:グループ1(Nickel compounds)

(国際癌研究機関グループ1)

本データシートにおいては、包括的に発がん性の可能性が示唆されている  
金属化合物の情報を参考に記載しました。

本製品(複合酸化物系顔料)は安定かつ均一な結晶構造を有する金属化合物の  
複合体でCAS,EINECS,Color Index等では単一物質として登録されており、  
日本産業衛生学会、LARC,NTP,OSHAでは発がん性物質として認定されていません。  
従って、本情報が必ずしも本製品の有害性を証明するものではありません。

吸引性呼吸器有害性 : 情報なし

#### # . 環境影響情報

PRTR法 : 特定第一種指定化学物質(ニッケル化合物)  
分解性 : 知見なし  
魚毒性 : 知見なし  
蓄積性 : 知見なし  
急性バクテリア性 : 知見なし

# . 廃棄上の注意 : 該当しない

産業廃棄物として処理する。 : 該当しない

: 該当しない

# . 輸送上の注意 : 該当しない

国際規制 : 該当しない

国連分類

国連番号 : 包材を破損させないようにすること(発塵防止)。

国連輸送品名 : 吸湿性があるので、雨に漏らさないようにすること。

容器等級 : 該当しない

海洋汚染物質

国内規制

輸送に関連する特別の安全対策 : 57条の2第1項、通知対象物、政令番号第189号

応急時措置指針番号 : 施行規則第2条別表 粉じん作業(粉じん)

- # . 適用法令
- 労働安全衛生法 : 有害物質(法第4条第2項)、水質基準(平15省令101)
  - 粉塵障害防止規則 : 輸出貿易管理令別表1の16の項(2)
  - じん肺法 : 特定第1種指定化学物質(物質番号100)
  - 水道法 : 日本インベントリ(ENCS)(既存及び新規化学物質)
  - 外国為替及び外国貿易法 : 全ての成分は表示されているかあるいは免除されている。
- 本製品は、毒物及び劇物取締法における危険有害性情報の通知対象製品ではありません。
- 化学物質排出把握管理法(PRTR) : 日本インベントリ(ISHL):記載されていない成分がある。

備考

- 日本インベントリ : PRTR情報 :2項参照
- (ENCS)(既存及び新規化学物質) : 収載されている。
- 日本インベントリ(ISHL) : 215-691-6

# . その他の情報

- PRTR法対象物質含有量
  - TSCA収載状況
  - EINECS番号
  - 引用文献
- 1) Suther land,C,L,et al.,An Inquiry into the Health Hazard of a Group Workers Exposed to Alumina Dust.,J.Ind.Toxicol.,19,312-319(1937)
  - 2) Martinswerk GmbH Bergheim (IUCLID(2000))
  - 3) 後藤、et al.,産業中毒便覧、242、医歯薬出版(株)(1977)
  - 4) Venugopal,B.,et al.,Metal Toxicity in mammals,2.New York:Plenum Press,(1978)(in HSDB,1997)
  - 5) Stanton,M.F.et al.,J.Nati.Cancer Inst., 67:965-975(1981)
  - 6) Wagner,J.C.et al.,Br.J.Cancer,28,173-185(1973)
  - 7) Documentation of the Threshold Limit Values And Biological Exposure indices,6th et,1991,48-49
  - 8) Meiklejohn A,et.,The Effect of the Use of Calcined Alumina in China Biscuit Olacing on the Health of the Workman.,J.Ind.Toxiclo.,30.160-165(1948)
  - 9) Meiklejohn A,et.,The Effect of the Use of Calcined

Alumina in China Biscuit Olacing on the Health of the Workman.,Brit.J.Ind.Med..14,229-231(1957)

- 10) ICSC 0351-ALUMINIUM OXIDE ICSC(2000). 7.2.2 Inhalation exposure(EHC(1999))
  - 11) 8.2.1 Respiratory tract effect(EHC(1999))
  - 12) UCLID dataset Existing Chemical substance ID:1344-28-1(IUCLID(2000))
- : 総ページ数:7

その他

記載内容の問い合わせ先

- 会社名等 : 永大化学株式会社
- 電話番号 : 0572-22-7218
- FAX番号 : 0572-24-1327

「記載内容のうち、含有量、物理化学的性質等の数値は保証値ではありません。危険・有害性の評価は、現時点で入手できる資料・情報・データ等に基づいて作成しておりますが、すべての資料を網羅したわけではありませんので、取扱いには十分注意してください。」